

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		専門課程	歯科技工士科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2002 単位時間/単位	596 単 位時間 /単位	単位時間 /単位	1406 単位時 間/単 位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2002 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生 数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		13 人	0 人	3 人	25 人	28 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）・授業計画（シラバス）の作成は、前年度中に各非常勤教員へ見直しや作成を依頼し、最終的には専任教員が集約し完成させている。各講師から頂いた授業計画を冊子にして、新入生が入学直後に配布し説明を行っている。歯科衛生士・歯科技工士の養成に関する指定規則をもとに、効果的な教育を行えるように、専任打合せ会、教務打合せ会、学校運営小委員会等の会議で検討している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）・前期試験および後期試験を実施し、100 点満点の 60 点以上が合格で、合格者には単位を与えている。本試験不合格者には、再試験を実施し再試験も 100 点満点の 60 点以上が合格である。履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する方法を用いて、客観的な指標として設定している。前期および後期試験を 2 回実施しており、いずれも同様の方法を用いている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）・1 月中旬頃に、非常勤教員を集めての教員会を開催し、成績や授業態度等について意見を貰い、最終的な卒業・進級の判定は校長が行う。</p>
学修支援等
<p>（概要）・欠席等があった場合は、定期試験前の放課後あるいは長期休暇を利用して補習を行っている。また国家試験前は補講等を行っている。実技面においては、放課後を利用して実技上達の為に支援している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11 人 (100%)	0 人 (%)	8 人 ( 72.7%)	3 人 ( 27.3%)
（主な就職、業界等） ・歯科技工所			

(就職指導内容) ・就職オリエンテーション、進路希望調査実施と個人面談、履歴書記入から面接指導、各会社説明会への学生参加ならびに保護者の参加要請、長期休暇中の職場見学
(主な学修成果(資格・検定等)) ・歯科技工士
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21人	2人	9.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 本人と直接面談あるいは保護者を含め三者面談の実施		